



国際疾病分類ICD改訂の進捗状況 —構造変更の作成について—

佐野友美 奈良県立医科大学 健康政策医学講座
小川俊夫 奈良県立医科大学 健康政策医学講座
今村 知明 奈良県立医科大学 健康政策医学講座



はじめに

- 最新のICD-10は1990年から世界各国で広く利用されているが、時代の変化に伴い医療全般に活用されるようになり、新たな疾病分類の必要性が高まった
- WHOは、2007年からICD-11への改訂作業のために専門分野別に13の部会(TAG: Topic Advisory Group)を設置した
- 内科分野の部会である内科TAGでは、臓器別に8つの作業部会(WG: Working Group)に分かれて作業を実施している
- ICD改訂作業には世界各国の関連学会が関与しており、その関与の形態が改訂作業の進捗に影響を及ぼしている可能性がある



目的

- 内科TAGの各WGを例として、ICD改訂作業における国内外の関連学会の関与の有無を明らかにする
- ICD改訂作業において、各関連学会の関与がICD-11構造案作成の進捗へ及ぼす影響について検討する
- 今後のICD改訂作業の進展のために必要な対策について考察する



方法

- 過去3年間のICD関連会議の議事録を用いて、各WGのICD改訂作業の進捗状況と各関連学会の関与に関する記述を抽出する
- 議事録より、ICD-11構造案作成における、各WGへの関連学会の関与について分析を実施する
- ICD改訂作業の進捗に影響を及ぼしていると考えられる要因について考察し、今後の改訂作業のあり方についてまとめる

> ICD-11構造案は、ICD-10をベースとしたICD-11の基本骨格である



各WGのICD-11構造案作成に関与した主要学会・団体

- 全てのWGにおいて、多くの関連学会がICD-11改訂作業に関与している

WG名	関連学会・団体
肝・胆・膵WG	日本消化器病学会 日本血液学会
血液WG	ASH(The American Society of Hematology) EHA(European Hematology Association)
呼吸器WG	日本呼吸器学会
消化器WG	日本消化器病学会
循環器WG	日本循環器学会など多数
腎臓WG	KDIGO(kidney disease: improving global outcomes) 日本腎臓学会
内分泌WG	ISN(The International Society of Nephrology) 日本糖尿病学会
リウマチWG	日本リウマチ学会 ACR(American College of Rheumatology) EULAR(The European League Against Rheumatism)

注) 2011年9月時点で議事録から抽出した情報に基づき調査作成。WGは五十音順に記載



各WGのICD-11構造案作成の進捗状況

- 2011年3月時点でICD-11構造案の作成が完了したと報告されたのは肝・胆・膵WG、血液WG、消化器WG、腎臓WG、リウマチWGであった

ICD-11 構造案作成	2008年 9月	11月	2009年 6月	10月	2010年 11月	2011年 3月	関与している 関連学会
肝・胆・膵WG	開始					完了	国内学会のみの関与
血液WG				開始		完了	国内及び国際学会の関与
呼吸器WG					開始	作成中	国内学会のみの関与
消化器WG	開始					完了	国内学会のみの関与
循環器WG					開始	作成中	国内学会のみの関与
腎臓WG		開始				完了	国内及び国際学会の関与
内分泌WG					開始	作成中	国内学会のみの関与
リウマチWG			開始			完了	国内及び国際学会の関与

注1) 2011年9月時点で議事録から抽出した情報に基づき調査作成。WGは五十音順に記載
注2) 構造案作成完了とは、ICD-11構造案の草案が内科TAGの構造案全体を収録している分科会の専門家であるマネージングエディタの承認を受け、ICATと呼ばれる疾病の定義等のコンテンツを入力するためのフォーマットへの入力を実施したものとす。なお、ICATへの入力後も修正等が継続されており、構造案が完全に完了したわけではない



考察

- 内科分野におけるICD-11構造案の作成は、多くの関連学会が関与していることが明らかになった
- 関連学会の関与形態には、日本国内の関連学会主導と日本国内の関連学会を含む複数の国際的な関連学会主導の2つに分類される
 - > 日本国内の関連学会主導
肝・胆・膵WG、呼吸器WG、消化器WG、循環器WG、内分泌WG
 - > 日本国内の関連学会を含む複数の国際的な関連学会主導
血液WG、腎臓WG、リウマチWG
- 内科分野のICD改訂作業において、全てのWGで日本国内の関連学会の関与が認められた



考察

- ICD改訂作業の進捗に影響を及ぼしている主な要因は、ICD-11構造案の作成開始時期であることが示唆された
 - > 作業が完了したWGは2009年度までに作業を開始
肝・胆・膵WG、血液WG、消化器WG、腎臓WG、リウマチWG
 - > 作業が未完のWGは2010年以降に作業を開始
呼吸器WG、循環器WG、内分泌WG
- ICD-11構造案の作成開始の遅れの原因
 - > WGメンバー選定の遅れやメンバー変更による初動の遅れ
 - > 重複疾患の調整等のICD改訂作業の複雑さ

考察

- ICD改訂作業の進捗には、WG毎のICD改訂作業量の差なども影響を及ぼしていると考えられる
- 今後、ICD-11構造案の作成が完了したWGから順次、疾病ごとの定義などのコンテンツ作成と入力が始まり、ますます人的・物理的資源の必要性が高まると考えられる

謝辞

本研究は、平成23年度において
厚生労働科学研究費補助金・政策科学総合研究事業
(政策科学推進研究事業)を受け、実施した研究の成果である

「医療における情報活用を行う上での適切な国際疾病分類に関する研究」